

陽の里

発行 平成22年4月8日

社会福祉法人 新生会
総合ケアセンター サンビレッジ
〒503-2417 岐阜県揖斐郡池田町本郷1501番地
TEL (0585) 45-5545(代)
URL <http://www.shinsei-kai.or.jp/>

No.106

テーマ 広がるサービスで在宅生活を継続する



▶サンビレッジ新生苑ひまわりホールにて

『サンビレッジ新生苑の作業療法士として』

須澤 望
南 あおい

私たちは、この春サンビレッジ国際医療福祉専門学校を卒業し、4月から作業療法士として生活療法部門で働くこととなりました須澤と南です。

学生時代、サンビレッジ新生苑で何度か実習をしましたが、「サンビレッジ新生苑の作業療法士ってどういう仕事をしているのだろうか？介護職と変わりないのでは？」と思っていました。しかし、職場説明・職場見学を通して、具体的な業務内容を知ると、自分の中で当苑での作業療法士のイメージが膨らみました。作業療法士が現場に入ることによって介護職の方たちと意見交換ができ、利用者一人ひとりにより良いアプローチが可能になるのだと感じました。また、生活療法部門での「ふんばるくん」(トイレ支援具)製作に参加し、就職後、個々の利用者に合った生活器具などを製作するなどいろいろな事に挑戦してみたいと思いました。

サンビレッジ新生苑の現場における「間違っているものは改善し、新しいものを取り入れていく」といった姿勢に学び、私たちもその一員になって新しいことにチャレンジしてみたいと強く思いました。

入職し数年間は介護も行っていくことになりましたが、作業療法士としての目線を大切にしながら目標を持ちしっかりと基本的な土台を学び頑張りたいです。そして、利用者一人ひとりの生活をみて、その人が自分らしく生活を送れるように関わっていきたいと思います。私たちの持ち前の明るさを武器に頑張っていきたいと思えますので、これからもよろしくお願ひします。

新年度への抱負



理事長

石原 美智子



一九七六年以来私たちが展開してきた事業が自由工房の手によって「陽の里めぐり」という映像となって完成しました。

その中には社会福祉法人だけではなく、関連事業である株式会社新生メディアカルやNPO法人校舎のない学校も紹介されています。

私は障がいを持っても生活を継続するときには何が必要かを考えながら事業を展開してきました。その結果、大きく分けると施設系と在宅系のサービスと教育機能になりました。

現在の介護保険制度では、この中で在宅系のサービスが最も制度としては遅れて

いるのではないかと思えます。制度として遅れているということは、サービスとしても充実していないということとです。でも、ご本人は当然のこと、ご家族にとっても可能な限り住み慣れた所で人生を全うしたいという気持ちは当たり前のことです。そこで今年は今まで私たちが蓄積してきたそれぞれの力を集めて、可能な限り在宅で住み続けることが出来るような取り組みを考えています。まず、株式会社新生メディアカルを中心に短時間継続介護を、そして社会福祉法人新生会を核に洗濯&掃除サービスに取り組みます。既に取り組んでい

る他のサービスと組み合わせると、随分在宅での生活を継続できる可能性が高まるはずですが、そのためにNPO法人岐阜県居宅介護支援事業協議会と校舎のない学校が教育部門を受け持つこととなります。

私たちは事業者でもありますが、家族としての利用者にも、自分自身が利用者にもなります。その時に、本当の安心が手に入るために私たちはいま力を合わせて努力をしているのです。私たちの足跡「陽の里め

ぐり」の映像は、一本の大きな木の映像から始まります。その姿は、いま皆が同じ理念のもと、力を合わせて夢に向かっていく姿を現しています。また、その中を流れている音楽は「ソング・オブ・ジョイ・アンド・ピース」喜びと平和の歌です。私たちもこの仕事を通して介護の仕事は単に大変なだけではなく、実に喜びと平和を得ることのできる分野であることを社会に向けて発信していきたいと願っています。



お知らせ

サンビレッジ瑞穂

平成23年7月開設予定
入居者・職員募集開始

連絡先／サンビレッジ瑞穂準備室(サンビレッジ新生苑内) TEL 0585-45-5545 担当／馬淵・森・玉城

短時間巡回訪問介護サービス

株式会社新生メディカル
池田営業所 所長 岡田 テル子

短時間巡回訪問介護サービスとは、30分を要さず短時間のケアによって十分ニーズを満たせるサービスでモデル事業として取り組んでいきます。現在、訪問介護のサービスは30分未満、1時間未満と時間の中でケア内容が組み合わされてサービスが提供されています。しかし、排泄や水分補給、服薬介助（確認）などのケアは、30分も必要とせず、状態により短い時間で複数回提供されることが望ましいと考えます。

施設では、必要なケアを必要なときに複数回提供されています。在宅でもその人のニーズに応じ、必要なとき必要量のサービスを複数回提供していくことで、利用者の選択肢が増え、在宅生活継続の可能性が広がります。新しいサービスにご期待下さい。

ランドリーサービス (家庭お洗濯) 開始のお知らせ

1. 年をとり、洗濯がしんどくなってきた。
2. 布団やシーツなど大きな洗濯物は干すのが大変。
3. ひとり住まいで洗濯に困っています。



こんな洗濯でお困りの方、ランドリーサービスをご利用しませんか？ 従来から地域の皆様より、ご意見を頂いておりましたが、いよいよ平成22年4月より「在宅向けランドリー（お洗濯）事業」をスタート致しました。（お洗濯物をお持ち頂き、ご自宅まで配送致します。）気楽にお声を掛けて下さい。

問い合わせ：社会福祉法人新生会 サンビレッジ新生苑
ランドリー部門 TEL 090-5612-2638 担当／松野



飛ばそうあなたに

HOT あったかメール

利用者、家族、スタッフ、そして地域の皆様へ

「貴方へ」

岐阜シテイタワー43 ラシユールメゾン 長屋 幸子
早いものです。貴方が彼岸へ旅立つてから八ヶ月になります。今何かにつけて頭の中に、貴方と過ごした歳月が蘇ります。その中で、終の棲家を、シテイタワーに決めたことは、最良の選択でした。

転居、即、「アンキーノ」に入所でしたね。温かい心と気配りの細やか主治医の先生・優しく、いつも笑顔を見られる細なる福祉施設の職員の方々に恵まれて、貴方にも、笑顔が見られるようになりましたね。そして、歩行もできる様になりましたね。私は、嬉しかった。「岐南町のお家に帰りたい」と言い出さなかつた心配していた私をホッとさせました。入退所を繰り返して、最後を「アンキーノ」にて、彼岸へと旅立てた貴方は、本当に幸せでよかつたと、家族で話をしていました。

昨年末に「デイサービス」のご利用者の方がお参りに来てくださったのです。覚えていて下さつて嬉しく思いました。有難い事ですね。

貴方沢山の思い出を有難う 至らなかつた私でごめんなさいね。

「幸子」

サンサンギャラリーへ
出展した時の記念写真



ご主人である通夫さんは、アンキーノご利用第一番目の方でした。そして、ラシユールメゾンに転居後、どのようにならされたらよいかのアドバイスメントをするためでもありました。

その後、アンキーノでの看取りまでの二年間をデイサービス、みつけのおうち、コンサートなど楽しみながら過ごされました。

奥様はご主人の想い一杯のシテイタワーでコンサートや元気塾などに参加され、新生会の良き理解者としてまちづくりを応援して下さいます。

長屋さんこれからもよろしくお願ひします。

「スタッフ一同」

愛のともしび基金 補助事業完了のお知らせ

この度、財団法人愛のともしび基金から、平成21年度社会福祉法人等備品整備事業の補助金を受けて、デイサービス用車両を購入しました。ここに事業完了のご報告を申し上げますと共に、財団法人愛のともしび基金をはじめ、ご協力を賜りました関係者の皆様に謹んで感謝の意を表します。



トピックス

下野龍雄さん
絵画展開催！

娘さんを想って「浩子」



繊細な描写の「しだれ桜」



「中山七里」を背景に 下野龍雄さん

現在サンビレッジ新生苑にて、サンヒルズ・ヴィラ・アンキーノをご利用中の下野龍雄さんによる絵画展が開催されています。

下野さんは教職を40年間勤めた後、70歳から友人に誘われ絵画を始めました。そして絵の恩師より「絵を描いていれば健康でいられる」という言葉が今でも心に残り88歳を迎えた現在でも積極的に創作活動を続けました。その作品は県の美術館に出展し入選、又、北方町役場に飾られるなど、多方面から評価を受けてきました。下野さんの「風景なども、ぼんやりと見るのではなく、意識してみています」という言葉が、年齢を感じさせない創作意欲や感性を象徴しているようです。そんな下野さんがこの度住まいに選んだアンキーノは、濃尾平野を見渡す池田山麗の自然に囲まれた、住宅型の有料老人ホームです。季節と共に移り変わる美しい自然の風景と、安心できる馴染みの職員による支援、そして地域の人々との暖かい交流の中、今後はどんな傑作が生まれるのでしょうか。

今回の絵画展は、岐阜シティータワーの開催に続き「海外から帰省する娘や、地域の多くの人にも見てもらいたい」との思いから、より広いスペースを有する当苑で開催する運びとなりました。特別な展示場ではなく、苑内の廊下を使用する絵画展は、入所者やご家族、デイ利用者やボランティアなど、地域に住む大勢の方々に観賞して頂くことができます。皆さんぜひご来苑下さい。

第34回 チューリップ祭りのご案内

テーマ～世代をこえて
つながろう地域 咲かせよう笑顔の花～



「陽の里めぐり」上映会 開催！



昨年の池田町ききょう太鼓の様子

- 日時：平成22年4月10日（土）
場所：サンビレッジ新生苑 中庭
日程 10:00 チューリップ娘町内パレード・
模擬店開始
10:30 池田中学校吹奏楽
11:45 池田町ききょう太鼓
12:30 琴の演奏（グループさくら）
13:30 よさこいソーラン
14:00 チャリティ抽選会



今年も皆様のご来苑をお待ちしています。

<お問い合わせ> サンビレッジ新生苑 チューリップ祭実行委員会
委員長 高木正剛 TEL (0585) 45-5545



新生会34年の足跡をまとめた映像「陽の里めぐり」が、映画監督羽田澄子さんの主催する自由工房の手により完成、新生苑で上映されました。

新生会は、創立者である今村勲の「福祉は、地域社会や医療と結びついた場所になければならない」という理念の下で創られたサンビレッジ新生苑に始まり、現在は施設・在宅サービス、又学校やNPO法人など、様々な活動を行っています。そしてお年寄りご本人や家族も含め、多くの専門職によるチームが一丸となり、その方の生活を中心に置いた介護や医療の提供を行い、保有される能力を引き出して頂けるように支援を行っています。

「人の痛みを知り、常に相手の立場に立って考えよう。介護する側とされる側、健康な人と障がいを抱える人の心のバリア（障がい）を取り除き、心のバリアフリーを地域に広げていこう。そして人が等しく、誰もが安心して老いることのできる社会を創ってゆこう」観賞した職員一人一人が思いを新たにしました。